

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20～22℃台を示し、平年並み～やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の33%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり0.4トンの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり9kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり28kgの水揚げで、前週の26%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり58kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり31.1kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり9kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。
- 定置網――五島有川地区では、トビウオなどが1日1統当たり69kgの水揚げ。北松生月地区では、ブリなどが1日1統当たり2.2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり260kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり323kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり67kgの水揚げで、前週の21%（前年を下回った）。北松小値賀地区では、イサキが1日1統当たり32kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- 延縄――北松小値賀地区では、キダイなどが1日当たり63kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（6/5日～6/7日の3日間）沖合イカ釣り船、船凍船は、6月9日から全船が出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 2日延2隻、総計18箱、1航海最高13箱、平均9箱、スルメ（25・30入）6箱、ケンサキイカ（4立・バラ入）12箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第31-17号 長崎県周辺海域の海面水温（6月号）」を長崎県庁ホームページに掲載しています。

長崎県庁ホームページ

「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>